

平成28年度予算編成の 重点施策は何か



文化センター周辺地区の区画整理や
広幹道アクセス道路などの整備に取り組む

備前島久仁子



期待が高まる文化センター周辺地区

質問

来年度の町の財政状況は
どう予想されるか。

答弁

町長 人口減少・高齢化
が進む中で、社会保障費

が増加し、厳しい財政運営が予
想される。予算規模については、

中央小学校大規模改造工事が終
了するため、今年度予算規模を
下回ると予想する。

質問

道の駅 玉村宿オープ
ンから半年がたったが、課
題は何か。

答弁

町長 スマートフォンの
充電サービスを初め、家
族向けのイベントや、休日限定
メニューを販売していく。女子
大生の感性を生かしたコラボも
積極的に進める。

道の駅の特長でもある地元野
菜が品薄であることから、出荷
してくれる生産者を増やしてい
きたい。

質問

発達障害のある子どもへ
の支援と取り組みは。

答弁

教育長 発達障害のある
子どもへの支援で何より
大切なのは、保護者の理解と関
係機関の連携、早期発見と支援

である。

昨今、通級教室に通う子ども
の数が増加の一途で、今は、幼
児76人、小学生64人、中学生6
人が通級教室へ通っている。そ
のため、通級教室の人的・物的
な整備が急務となっている。

質問

女性の管理職登用がな
か進まない理由は何か。

答弁

町長 過去に、保育士や
幼稚園教諭を除いて、女
性職員の採用が10年ほどなかつ
た時期があるが、現在、女性の
管理職は0であり、遅れている
と感じる。

女性は仕事と家庭の両立で、
管理職になるのを望んでいない
ようにも見受けられるが、人材
育成を進めながら、能力や意識
を向上させ、管理職登用へ向け
ていきたい。

「生活困窮者自立支援法」 への取り組みに遅れはないか



事業主体の県、県社協、町社協
などと連携し対応している

宇津木治宣



質問

格差社会が生む貧困の連
鎖は深刻だ。こうした状
況下で、国は昨年4月から「生
活困窮者自立支援法」を施行し
た。県内各市においては、相談
窓口が設置され活動が始まって
いる。当町の取り組み状況はど
うなっているのか。

答弁

町長 福祉事務所を持た
ない町村の実施主体は県
であり、事業予算も県にある。
県は、事業を群馬県社会福祉協
議会（以下「県社協」という）に
委託している。

質問

自立支援事業には次の7
事業がある。それぞれの
取り組み状況は。

- ① 自立相談支援事業
- ② 住居確保給付金の支給
- ③ 就労準備支援事業
- ④ 家計相談支援事業
- ⑤ 就労訓練事業

⑥ 子どもの学習支援

⑦ 一時生活支援事業

答弁

町長 これらの事業のう
ち①、②は必須事業と
なっていて、既に県社協が実施
している。その他の事業につい
ては、必要性を見極めながら実
施していく。

質問

町内において「学習支援
事業」を模索するNPO
法人があると聞いている。町と
して事業に取り組んではどうか。

答弁

町長 県は、貧困の連鎖
を防止することを目的に
「学習支援や保護者への進学助
言」などを実施する。「来年度を
待たずに、早い段階で進めたい」
とのことなので、関係機関と連
携して取り組む。

公契約基本条例の制定を

質問

公契約基本条例は、「市
町村が行う契約の基本的
なあり方を定めることにより、
公正性、透明性及び競争性を確



町が行う公共工事

保するための施策を推進し、併
せて下請負者を含む業務に従事
する者の適正な労働条件を確保
し、もって住民の福祉の増進に
寄与する」としている。
前橋市など全国の自治体で制
定されている。当町も制定を検
討してはどうか。

答弁

町長 前橋市を初め、県
内市町村の動向を注視し
検討を進めたい。